

## 人権尊重のまちづくりを進めるために日々考える大切な行動や意識

### ①参加し、参画する

人権に関する研修会やイベントに参加し、自分ができる範囲で協力したり自分の発想を生かしたりして企画や運営に関わる。

### ②出会い、対話する

市民同士が出会いと絆を大切にし、尊重して対話することにより、互いが元気になり、自信をもって生きていく。

### ③気づき、学び合う

身近な生活の中にある人権に気づき、それを家族や友人と共有しながら、ともに人権を大切に生活を高めていく。

### ④人と自分を大切にす

「人も自分も大切にし、ともに幸せになっていく」という考えをもち、それを日々の生活で意識し、行動する。

### ⑤自分・家庭づくりから地域づくりに向かう

自分が積み上げてきた人権・同和教育の学びや経験を生かした家庭づくりを行い、やがて地域・職場に広げる。

(三同教50周年記念誌の原文を要約しています)

## 人権を学び合うことで自分が、家庭が、地域が、まちが高まっていく！

人権は、人が人として暮らすのに欠かせない、大事なものです。ところが、普段の何気ない言動で、傷つけたり、傷つけられたりすることがあります。人権学習を積み、学びを深めることで、間違いに気づくことができます。

学びを深めるには、市や各地域の公民館で行われる講演会やセミナー、特に各自治会などで行われる住民学習に参加することが効果的です。住民学習では現代社会の人権課題に係るDVDを鑑賞した後、自分の思いや意見を出し、他の人の意見も聞く中で人権意識を高め合い、自分磨きができます。



未来のココロの木



# 人権尊重のまちをめざして

問(市)人権推進課 ☎82-8388

人権尊重のまちとは、どんなまちでしょう――

市民一人ひとりがかけがえない大切な存在として、互いに認め合い、支え合い、笑顔と幸せいっぱいのもち・でしようか、皆様にもそれぞれの思いがあるとあります。

それでは、私たちが日々どうすれば人権尊重のまちに向かって歩んでいけるのか、そのヒントを紹介します。

昨年、三木市人権・同和教育協議会(以下、三同教)は結成50周年を迎え、「未来志向の人権」をキーワードに、人権尊重のまちづくりを進めるために日々考える大切な行動や意識を、次のように示しています。

最近では、人権に関連するゲームやイラストを教材にした参加体験型の住民学習のほか、人権ゆかりの地を訪れ、その地域の取組や人々の思いにふれるフィールドワークなど、参加者が興味・関心をもち、積極的に参加できるような学習方法も取り入れています。

また、直接人権課題に向き合い、自分たちができることでいろいろな活動に取り組む方も増えてきています。

市民一人ひとりが日常生活の中で学び、さらに人権学習でレベルアップを図り、「人権尊重のまち」みきをつくっていきましょう。



人権を五感で学ぶフィールドワーク